

## 教育フォーラム小山2018 開催

先日、小山市文化センター大ホールにおいて小山市教育委員会の主催による上記名の教育の集いが行われました。本校からの代表として学校運営協議会会長の佐藤様をはじめ4名が参加しました。

本校のコミュニティ・スクールで実施してきた取組と目指している方向性が間違っていないことや、本校を支えてくださる地域の方々の力強さを実感することができました。

同時に、今後大きく変化せざるをえない本校の学校を取り巻く環境の中でも、継続できるコミュニティ・スクールのために整備していく必要のある点など、次年度に向けた課題を、出席者で確認することもできました。

### 教育フォーラムおやま2018

～小中一貫教育とコミュニティ・スクールの一体的推進に向けて～

- 1 開会行事
- 2 教育委員会事務局説明  
・小山市の小中一貫教育とコミュニティ・スクール
- 3 代表による発表  
・絹義務教育学校の取組について  
・小山第一小学校コミュニティ・スクールの取組
- 4 講話  
「小中一貫教育とコミュニティ・スクールの一体的推進について」  
文部科学省CSマイスター  
高橋 興 先生



## なぜ小中一貫教育? なぜコミュニティ・スクール?

### 【必要とされる背景にあるもの】

- ・子どもたちを取り巻く生活環境の大きな変化
- ・学校現場でのいじめや不登校、家庭や地域の教育力の低下などの様々な教育課題
- ・子ども自らが、自己肯定感・自己有用感をもち、自信をもって生きていくことができるよう、子どもの能力や可能性を引き出す教育の実現が急務

### 小中一貫教育のねらい

知・徳・体・郷土を  
大切にする4つの柱

- ①連続した学びに支えられた学力  
学習意欲の向上
- ②豊かな人間性・社会性の育成
- ③心身の健康に対する意識と  
体力の向上
- ④ふるさと小山を愛し  
誇りに思う心情や態度の育成

### コミュニティ・スクールのねらい

地域とともに学校をよくしていこう、  
学校とともに地域をよくしていこう  
という『共創』の考えのもと

- ・地域の宝である『おやまつ子』を  
育てていくこと
- ・地域における学校の存在を再確認  
することで地域コミュニティの活性化をはかること

# 平成29年度 学校評価より



今年度も、数多くの地域の方々に支えられて本校の教育活動が展開できたことを大変ありがたく思っております。今年度の活動や取組が、児童・保護者にはどのようにうつっているかについて先日『学校評価』という名前で調査をいたしました。詳細につきましては2月20日(火)15:00~に行われる、第5回 学校運営協議会の中でお伝えします。

ここでは、コミュニティ・スクール、小中一貫教育に関連があると思われる質問内容に対する児童・保護者の解答結果についてお知らせいたします。

## 【児童アンケート】

Q あなたは学校に来るのが楽しいですか？  
90 10

Q あなたは明るく元気なあいさつができますか？  
97 3

Q あなたは先生や友達に話すときに言葉づかいに気を付けていますか？  
97 3

質問に対する選択肢を

- A… そう思う
- B… ややそう思う
- C… あまり思わない
- D… 全く思わない

とし、ABを肯定的意見CDを否定的意見とらえ、割合を%で数値化しました。

## 【保護者アンケート】

Q 子どもは楽しそうに学校に通っていますか？  
93 7

Q 子どもは家庭や地域で明るいあいさつができていますか？  
87 13

Q 子どもは家族以外の人に対する言葉づかいに気を付けていますか？  
88 12

Q 学校は交流活動を行ったり中学校の様子を伝えたり、小中一貫教育に努めている。  
93 7

Q 学校はコミュニティ・スクールとして地域や保護者の人たちとの連携に努めている。  
98 2

保護者が (CまたはD)と記入された際の御意見等 \*一部のみ掲載いたします。

\* 地域で子どもたちにもあいさつをすることが少なく、こちらから声をかけても反応がないこともあり、あいさつができていないとは思えません。すべての子どもたちがあいさつができないとは思わないが、一部の子どもたちによって北小の子どもたちの評価が低くなってしまつのは残念だなと思います。

\* 学校や地域で児童に会ってもあいさつをしない子どもが多くなったと思います。とても悲しい気持ちになります。

\* 外では、自分から大人に寄っていくことが苦手だと思います

\* 小学校が南小と一緒になるということなので、小中一貫と言われても、中学校は今のままで別校舎…。今後どうなっていくのか私自身分からないところです。

自由記述・御意見等

\* 朝の登校時、雨が降ると車で送ってもらうお子さんが多いなと思っています。距離の遠いお子さんはやむを得ないかもしれませんが、雨の日は登校班が成立しないこともあります。強い体と心を養うためにも、多少の雨ならばみんなと歩いて登校してほしいなと思っています。

\* 少人数のメリットを生かしつつ、今後の小中一貫教育に向けて子どもの不安が少なく移行できるような取組を続けてほしい。  
 貴重な御意見をありがとうございました。

## 【教職員アンケート】自由記述の一部を掲載いたします。

### \*小中一貫教育について

- ・豊田地区という結びつきの強さを生かした教育が行えていると感じる。
- ・中学校、南小学校の先生方と意義のある話し合いが行えている。



### \*コミュニティ・スクールについて

- ・学習支援ボランティアなど地域の教育資源、人材を生かした授業実践ができ、大きな教育的効果を得られた。
- ・職員だけでは十分にできない作業等の手伝いがあり、児童のよりよい環境作りを助けていただくことができた。
- ・本地域の学校支援に対する意識には高いものを感じている。学校運営協議会の方々の意識も高い。

## 第5回 学校運営協議会開催

2月20日(火) 15:30~ 校長室にて

学校運営協議会の参観を御希望される方は、学校37-0015 (担当：教頭または教務) まで御一報ください。

